

第 14 回月例会（北東アジア地域研究会・国立民族学博物館拠点）

第 14 回月例会を平成 29 年 10 月 26 日に国立民族学博物館で開催いたしました。本会には館内の構成員 5 名のほか、総研大院生 4 名、外部 1 名が参加しました。

今回は発表者として富山大学より呉人恵教授をお迎えしました。「新旧量大陸の要的言語、コリヤーク語——その移動と相互影響の痕跡をたどる——」と題し、コリヤークの生活などにも触れつつ、言語学的な観点から北東アジアを概観し、コリヤーク語と北米諸言語との類似性についてご発表いただきました。北東アジアにおけるヒトの移動と密接に関係する言語の影響関係を通して、北東アジアの枠組みと北米大陸とのつながりが示されました。質疑応答では言語の消滅の危機や言語教育についても言及されました。

